

特別ワークショップ：48時間デザインマラソン  
Special Workshop : The 48-hour Inclusive Design Challenge

実施計画書



第2回 国際ユニヴァーサルデザイン会議  
2006 in 京都

2006年8月28日



国際ユニヴァーサルデザイン協議会

# ●目次

- 開催趣旨
- 企画概要
- 組織および協力体制
- チーム編成 1
- チーム編成 2
- スケジュール
- プログラム
- 参加者募集要項
- 2会場周辺地図およびアクセス

## ●開催趣旨

本企画は国際ユニヴァーサルデザイン協議会（International Association for Universal Design :IAUD）が2004年度と2005年度の2回、実施した「ユニヴァーサルデザインワークショップ」

<http://www.iaud.net/dayori-f/archives/0410/25-183543.php>

<http://www.iaud.net/dayori-f/archives/0511/14-000544.php>

と英国王立芸術大学院ヘレンハムリン研究所（HHRC）が2005年4月に INCLUDE2005で行った、

「24時間インクルーシブデザインチャレンジ」

<http://www.hhrc.rca.ac.uk/events/DBAChallenge/24HC/index.html>

<http://www.hhrc.rca.ac.uk/events/DBAChallenge/index.html>

をモデルとしており、両者の連携企画として実施する特別ワークショップです。

あらかじめIAUD内部および「第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2006in京都」登録者から募集された参加者は、プロの英国デザイナーがチームリーダーとして参加するそれぞれ5つのチームに分かれて編成されます。各チームは当日明らかになるテーマに基づき、48時間という限られた時間内に競争設計を行います。

48時間の前半の24時間は主に、問題点の抽出とデザイン展開に費やされます。後半の24時間は主に、デザインの総合化とプレゼンテーション資料作成に費やされる。

また、ワークショップ会場には、さまざまな身体機能特性を有するハンディキャップ・ユーザーが待機し、各チームに助言を行います。

そして最終日には、国際会議内で公開プレゼンテーションを行い、会議参加者の公開審査を経て、優秀作が表彰されます。

# ●企画概要

## ■名称

特別ワークショップ：48時間デザインマラソン  
(Special Workshop : The 48-hour Inclusive Design Challenge)

## ■開催日程

2006年10月23日（月曜日）～ 10月25日（水曜日）  
2006年10月22日から26日に開催される「第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006 in京都」の会期中に開催。

## ■開催場所

国立京都国際会館  
(京都市左京区宝ヶ池)  
立命館大学国際平和ミュージアム  
(京都市北区等持院北町56-1)

## ■主催

国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD)

## ■協力

英国王立芸術大学院ヘレンハムリン研究所 (HHR C)  
立命館大学  
京都大学  
九州大学  
財団法人たんぽぽの家  
その他、趣旨に賛同し参加支援を希望する大学・教育機関

# ●組織および協力体制

## ■監修 (Supervisor)

荒井 利春 (あらい としはる)

金沢美術工芸大学教授

「ユニヴァーサルデザインワークショップ」 (2004、2005) 監修

## ■顧問 (Advisor) :

ジュリア・カセム (Julia Cassim)

英国王立芸術大学院ヘレンハムリン研究所特別研究員

INCLUDE2005の「24時間デザインチャレンジ」責任者

## ■統括責任者 (Director) :

大島 誠 (おおしま まこと)

「第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議in京都」実行委員会委員

## ■事務局 (Secretariat) :

「第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006in京都」実行委員会事務局

# ●チーム編成 1

チームは1チーム7名とし、以下のメンバーで構成します。

チームリーダー（1名）、サブリーダー（1名）、チームメンバー（5名）

## ■チームリーダー：

英国よりDBA Inclusive Design Challengeへの参加経験を持つプロフェッショナルデザイナー5名を招聘し、それぞれのチームリーダーとします。チームリーダーはチームメンバーと協議の上、与えられたテーマに基づき、ソリューションを導きます。人選は下記の通りです。

Tim Fendley(AIG- Interaction design)

Stuart May (PDD ex Pearson Matthews – product design)

John Corcoran (Wire Design – graphics and communication design)

Adrian Berry (Factory – product design)

John Bateson (Corporate Edge – branding and graphics)

## ■サブリーダー：

編成されたチームメンバーから互選により、サブリーダーを1名選出します。サブリーダーはチームリーダーを補佐し、チームをまとめます。

## ■チームメンバー：

I A U D会員および「第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006in京都」登録者から募集した若手のデザイナー、プランナー、研究者など30名を5つの混成チームに分けます。

それぞれのチームには同一の企業から2名以上は参加できません。

募集、及びチーム編成は実行委員会、または事務局で行います。

なお、参加メンバーは、それぞれ使い慣れたラップトップPCを持参していただきますよう、お願い致します。

## ●チーム編成 2

### ■ハンディキャップ・ユーザー：

障害の種類や程度の異なるユーザーはいずれのチームにも所属せず、各チームの要請に応じ、主にメンバーに不明なユーザー身体機能特性と道具や設備機器等との関係や、それらを使用する際に発生する問題について、具体的な助言を公平に行います。原則として京都在住者とし、人選は財団法人たんぽぽの家にお願いします。

- ・車椅子利用者（頸椎損傷C 7～8 レベル、または腰椎損傷L 1 レベル）
- ・車椅子利用者（筋ジストロフィー、または脳性マヒ者）
- ・片マヒ者（右片マヒ、または左片マヒ者）
- ・視覚障害者（全盲、または弱視者）
- ・聴覚障害者（聾啞、または難聴者）※日本語手話通訳は I A U D で手配します。

### ■学生アシスタント（ボランティア）：

それぞれのチームには、学生アシスタントが3名ずつ付き、チームをサポートします。3名の役割は英国デザイナーとの通訳補助、デザイン作業補助、及び映像制作補助とし、それぞれの役割に相応しいスキルを有するものでなければなりません。また、必要に応じ、ハンディキャップ・ユーザーの介助のために学生アシスタントを配置します。

# ●スケジュール

## <10月23日（月曜日）>

時間	スケジュール	会場
14時20分～ 15時20分	参加者事前打合せ	国立京都国際会館 C-1
17時30分～ 18時00分	テーマ発表	国立京都国際会館 アネックスホール1
	会場移動	
18時30分～	チーム作業	立命館大學 国際平和ミュージアム

## <10月24日（火曜日）>

時間	スケジュール	会場
9時00分～ 21時00分	チーム作業	立命館大學 国際平和ミュージアム

## <10月25日（水曜日）>

時間	スケジュール	会場
9時00分～ 15時00分	チーム作業	立命館大學 国際平和ミュージアム
	会場移動	
18時00分～ 19時00分	プレゼンテーション	国立京都国際会館 アネックスホール1
19時00分～ 19時30分	表彰式	国立京都国際会館 アネックスホール1



# ●プログラム

## 2006年10月23日（月曜日）

<テーマ発表>…17:30-18:00（30分）…場所：アネックスホール1

- 開会の辞……………神宮秀一理事（ワークショップWG担当）
- 発案者挨拶……………ジュリア・カセム特別研究員
- 開催概要説明……………荒井利春教授
- 参加チーム紹介（リーダーからメンバー紹介）
- 参加者代表挨拶
- テーマ発表……………神宮秀一理事
- 閉会の辞……………神宮秀一理事

## 2006年10月25日（水曜日）

<プレゼンテーション>…18:00-19:00（60分）…場所：アネックスホール1

- 挨拶……………大島誠実行委員
- プレゼンテーション……………1チーム10分
- 投票の説明……………大島誠実行委員

<表彰>…19:00-19:20（20分）…場所：アネックスホール1

- 結果発表……………大島誠実行委員
- 賞状授与……………川口光男実行委員長
- 最優秀チーム登壇：チームリーダーのコメント
- 作品講評……………荒井利春教授
- 全体講評……………ジュリア・カセム特別研究員
- 閉会の辞……………大島誠実行委員

# ●参加者募集要項

## ■応募資格

I A U D 会員、会議登録参加者

## ■募集期間

2006年8月30日（水曜日）～ 9月20日（水曜日）

## ■応募方法

添付の参加申込書をFAXもしくはメールにて9月20日（水曜日）までに事務局までご送付下さい。

国際ユニヴァーサルデザイン協議会事務局

FAX : 045-901-8420

e-mail : [info@iaud.net](mailto:info@iaud.net)

## ■注意事項

- ・参加費は無料です。ただし、宿泊費及び交通費等は各自のご負担となります。（ホテルの確保につきましては事務局で行いますので、ご必要な方は申込用紙の該当欄にご記入下さい。）
- ・カラープリンター、コピー機、ワークショップに必要な一部の画材、用具（模造紙、ポストイット、マーカー、マスキングテープ、カッティングボード、カッター、定規など）はI A U Dが用意いたしますが、以下の備品につきましてはなるべく参加者各自でご用意頂きますようお願いいたします。

**ラップトップPC、製図用具、スケッチブック、デジタルカメラ 等**

- ・本ワークショップにご参加の場合、ワークショップ期間中に開催の分科会、その他のイベント等へのご参加ができなくなります。予めご了承下さい。

## ● 2会場周辺地図およびアクセス



### ■ 移動手段

低床バス

(日野ポンチョ)

